

66 ラジオ、ステレオの使い方

アンテナ	66
サテライト・スイッチ	66
カセット一体AM/ FMマルチ電子チューナー付き ラジオ&4スピーカー	67
カー・オーディオの上手な使い方	76

アンテナ

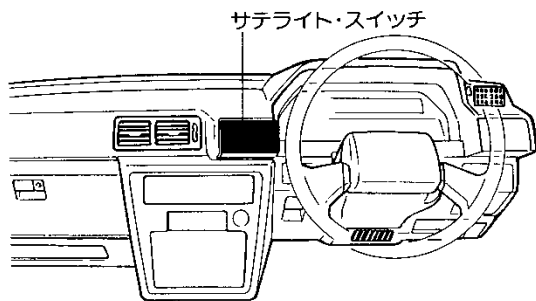
アンテナは、リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込まれています。



アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は、湿った布で熱線にそって軽くふいてください。
ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

サテライト・スイッチ

メーター左側のスイッチで右記の操作ができます。



エンジン・スイッチがONまたはACCのときに使用できます。

▶ ラジオを聞くとときは

- ラジオ電源のON、OFF
- 音量調整※
- AM/FM放送の切り替え
- 手動および自動選局

▶ テープを聞くとときは

- 音量調整※

※ラジオ本体の音量調整ツマミで音量を調整したあとサテライト・スイッチの音量調整ツマミを回せば音量の微調整が行えます。

ラジオ、ステレオの使い方

AM/FM切り替えボタン

AM/FM
↑ 押す

電源スイッチ

音量調整ツマミ

↑ 押す

小 大

選局ボタン

VTUNE
↑ 押す

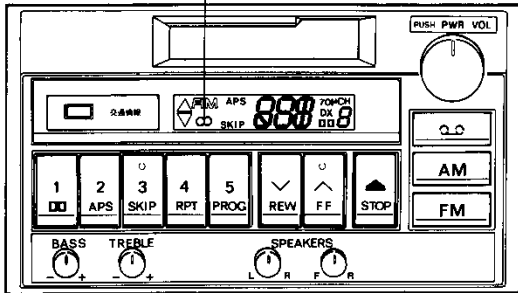

ラジオについての音量調整ツマミで音量を調整するときは、サテライト・スイッチの音量調整ツマミを中央の位置にしておいてください。

軽く押すと手動選局として、ピッと音がするまで押し続けると自動選局として使うことができます。

- 周波数の高い方へ選局するときは∧側
- 周波数の低い方へ選局するときは∨側

カセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー

ステレオ放送受信表示

1. エンジン停止時はラジオ、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
ちよつと言

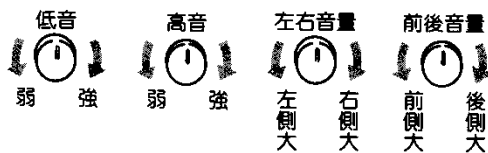
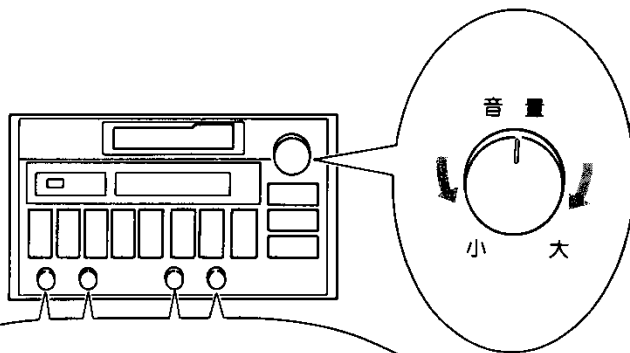
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞きください。

このシステムを十分活用していただくため下記手順でまとめてあります。

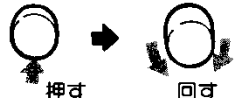
- ▶ 音量、音質調整のしかた.....67
- ▶ ラジオ放送を聞くには.....68
- ▶ 選局のしかた.....69
- ▶ プリセット選局ボタンのセット.....70
- ▶ 交通情報ボタンについて.....71
- ▶ 交通情報ボタンのセット.....71
- ▶ テープを聞くには.....72
- ▶ 早送り、巻きもどしをするには.....73
- ▶ テープを取り出すには.....73
- ▶ 自動選曲のしかた(頭出し).....74
- ▶ 同じ曲を繰り返して聞きたいときは.....75
- ▶ 無音部分をとばして聞きたいときは.....75

音量、音質調整のしかた

音量、音質調整は次のつまみでお好みに応じて調整してください。



操作をするとき



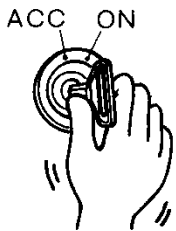
押す → 回す

つまみを一度押すと、つまみがとび出して操作しやすくなります。

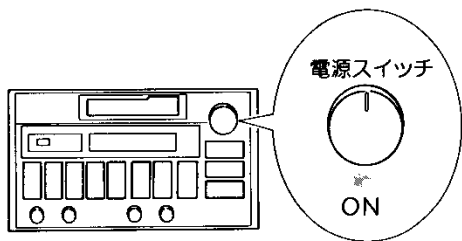
ラジオ、ステレオの使い方

ラジオ放送を聞くには

- 1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



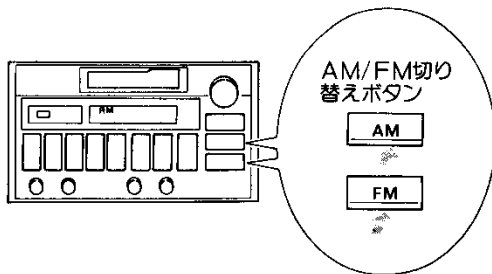
- 2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。



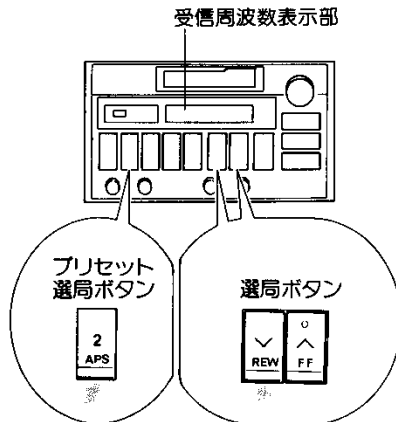
ちよつと一言

ラジオの電源スイッチがOFFのときAM/FM切り替えボタンを押すと、ラジオの電源がはいります。

- 3 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



- 4 選局ボタンまたはプリセット選局ボタンを押して希望の局を選びます。(次ページの<選局のしかた>または70ページの<プリセット選局ボタンのセット>を参照してください。)



- 5 音量、音質調整は67ページの<音量、音質調整のしかた>を参照してください。

選局のしかた

選局ボタンを軽く押すと手動選局として、ピツという音がするまで押し続けると自動選局として使うことができます。

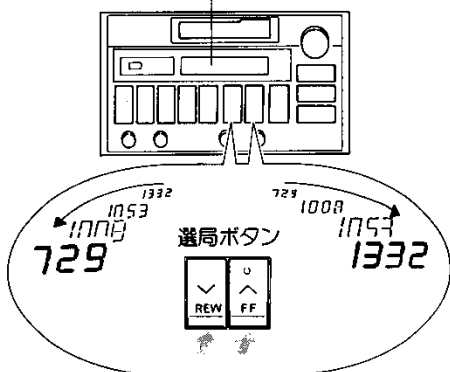
＜手動選局のしかた＞

① 選局ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせませます。

1回押すごとに段階的に周波数が変わります。

- 周波数の高い方へ選局するときは△側
- 周波数の低い方へ選局するときは▽側

受信周波数表示部



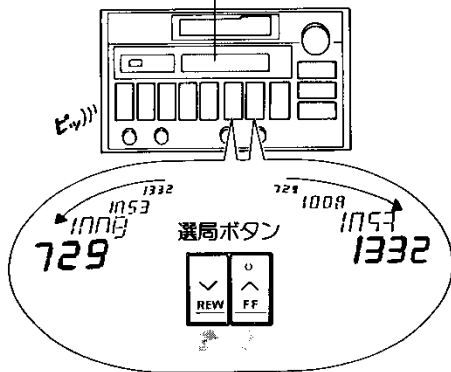
このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。

＜自動選局のしかた＞

① 選局ボタンをピツという音がするまで押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。

- 周波数の高い方へ選局するときは△側
- 周波数の低い方へ選局するときは▽側

受信周波数表示部



このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。



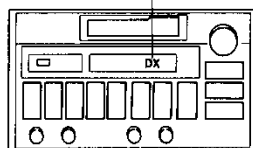
ちょっと一言

自動選局を解除したいときは、選局ボタンをもう一度押すと解除できます。

②

ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。

自動選局感度表示



ちょっと一言

放送を受信したら約15秒後に自動選局感度表示は消灯します。

自動選局感度表示が点灯しても選局しないときは、選局ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせてください。

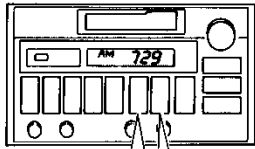
ラジオ、ステレオの使い方

⑦⑩ ラジオ、ステレオの使い方

カセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー

プリセット選局ボタンのセット

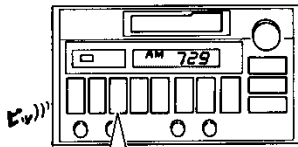
- ① 選局ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



選局ボタン



- ② プリセット選局ボタンのうちいずれか1つをピッという音がするまで押すとそのボタンに放送局が記憶されます。



プリセット選局ボタン



ちょっと一言

プリセット選局ボタン1つにつきAM 1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

- ③ あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、選局ボタンを軽く押して希望の周波数にセットしておくことができます。



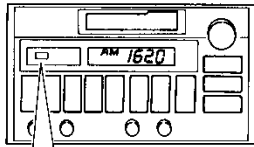
ちょっと一言

車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、プリセット選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度プリセット選局ボタンに記憶しなおしてください。

交通情報ボタンについて

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

- ① 交通情報ボタンを押すとあらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。(次の交通情報ボタンのセット)を参照してください。



交通情報ボタン



- ② もう一度押すと解除されます。

〔参考〕

道路名	地域	周波数	
国道17号	三國峠	上り線	522KHz
		下り線	1611KHz
東名高速	多摩川区間 港北区間	1620KHz	
阪神高速	森の宮～高井田間 長田出口	1620KHz	

※新車時は1620KHzにセットしてあります。

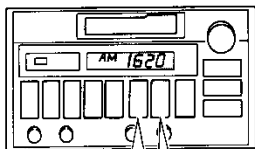


ちよつと一言

1. 交通情報ボタンはA M専用のプリセット選局ボタンとしても使用できます。
2. 放送受信中の場合、選局ボタン、プリセット選局ボタンを押しても作動しません。
3. カセット・テープ再生中に交通情報ボタンを押すとテープの再生は停止します。

交通情報ボタンのセット

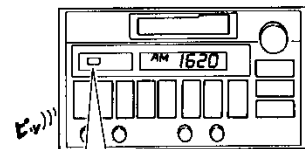
- ① 選局ボタンで記憶させたい交通情報局を受信します。



選局ボタン



- ② 交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けると記憶されます。



交通情報ボタン



ちよつと一言

1. F M放送電波を記憶させることはできません。
2. 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、周波数は1620 KHzにセットされます。

⑦② ラジオ、ステレオの使い方

カセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー

テープを聞くには

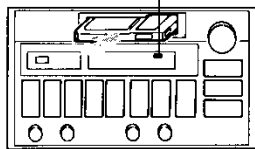
- ① エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。ACC ON



ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく使用できます。

- ② テープ差し込み口にテープを差し込みます。

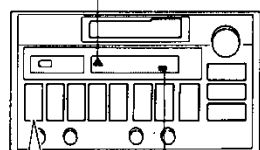
メタル・クローム・テープ表示



メタル・テープおよびクローム・テープを差し込むと表示が点灯します。

- ③ ドルビー(B)NR※で録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。

テープ走行方向表示



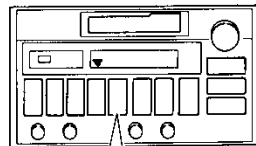
ドルビーNRボタン

ドルビーNR表示

※ドルビーは、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。

- ④ 音量、音質調整は67ページの<音量、音質調整のしかた>を参照してください。

- ⑤ 再生途中でテープの走行方向をかえたいときは、テープ走行方向切り替えボタンを押します。



テープ走行方向切り替えボタン

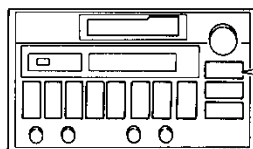
5
PROG

テープ片面の演奏が終わると自動的に反対側の演奏に切り替わります。(オート・リバース機構)



ちよつと一言

1. テープ再生中にラジオの電源スイッチまたはAM/FM切り替えボタンを押すと、テープの再生は停止します。再びテープを再生したいときはテープ・ボタンを押してください。

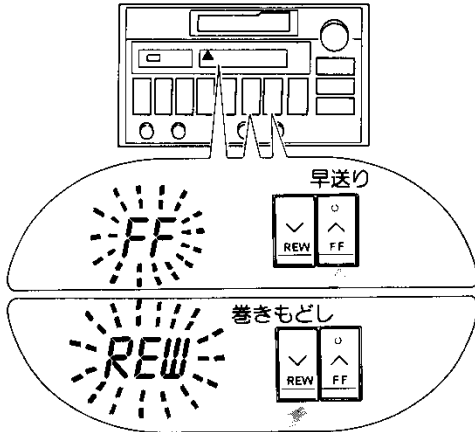


テープ・ボタン

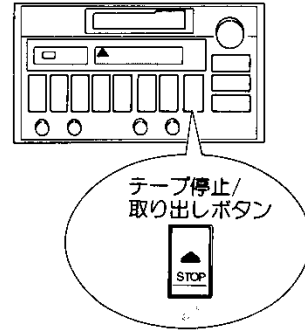
2. テープ再生中に交通情報ボタンを押すと、テープの再生は停止します。テープを再生したいときは、もう一度交通情報ボタンを押すか、テープ・ボタンを押してください。

早送り、巻きもどしをするには

- ① 早送りがしたいときは早送りボタン (FF) を、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタン (REW) を押します。

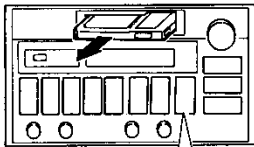


- ② 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止/取り出しボタンを押します。



テープを取り出すには

テープ停止/取り出しボタンを押すとテープが自動的に手前に押し出されます。



カセット・テープをいれたままエンジン・スイッチをOFFにしても、1回だけ取り出し操作が行えます。

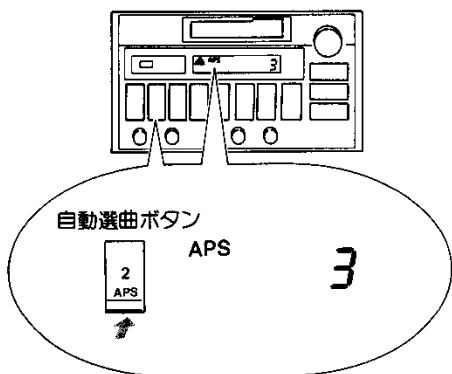


本機とカセットを保護するため、テープ停止/取り出しボタンを押してもカセット・テープが手前に押し出されないときは、異常検出機構が働きデッキの機能が停止します。この状態になったらトヨタ販売店へご連絡ください。

自動選曲のしかた(頭出し)

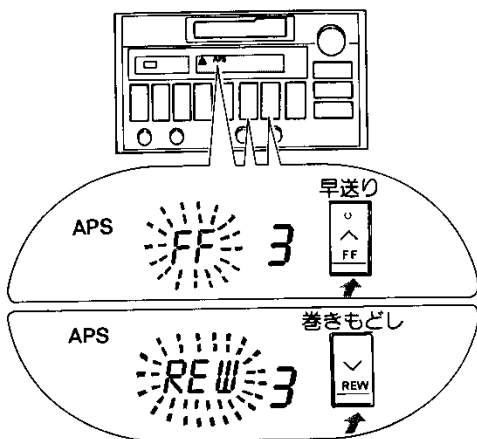
いまお聞きになっている曲の前後、9曲の中から希望曲の頭出しができます。

- ① 頭出しをしたい曲の曲数だけ(3曲目の場合は3回)自動選曲ボタンを押します。



自動選曲ボタンのセットはテープ再生中に行ってください。

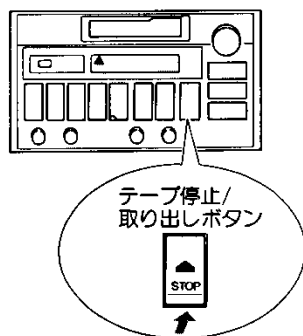
- ② 希望曲まで早送りするときは早送りボタン(F.F)を、巻きもどしをするときは巻きもどしボタン(REW)を押すと、希望した曲の頭でテープは止まり、演奏が始まります。



ちょっと一言

1. 巻きもどしの場合は、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれますので注意してください。
2. テープの残りの曲数以上の頭出しをしたときは下記のようになりません。
 - 早送りのときはテープ反対側の1曲目から演奏されます。
 - 巻きもどしのときは同じ側の1曲目から演奏されます。
3. 曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音のある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

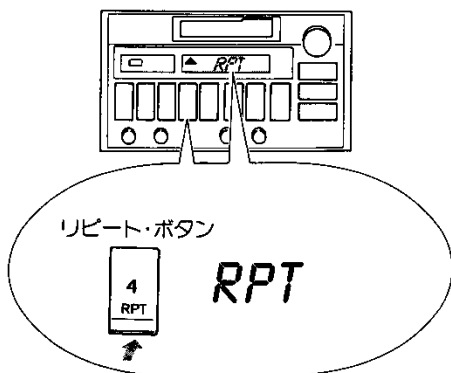
- ③ 自動選曲を解除したいときは、テープ停止/取り出しボタンを押します。



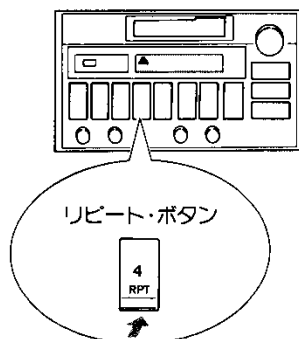
同じ曲を繰り返して聞きたいときは

リピート・ボタンを押すと同じ曲を何度も繰り返して聞くことができます。

- ① お気に入りの曲が演奏されているときにリピート・ボタンを押すと、その曲の演奏終了後自動的に巻きもどされて、曲の初めから再び演奏を始めます。



- ② 繰り返し作動を解除したいときは、もう一度リピート・ボタンを押します。



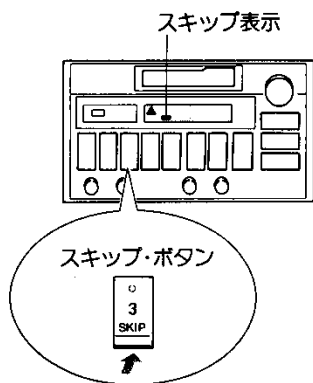
ちょっと一言

曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音がある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

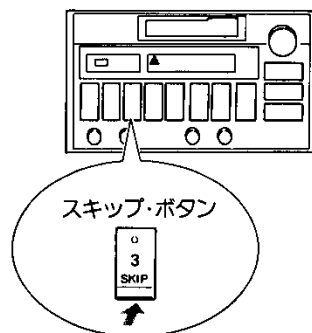
無音部分をとばして聞きたいときは

スキップ・ボタンを押すと無音部分をとばして聞くことができます。

- ① スキップ・ボタンを押してあれば無音部分が約12秒以上の場合、自動的に早送りして曲の頭出しを行うことができます。



- ② スキップ作動を解除したいときは、もう一度スキップ・ボタンを押します。



ちょっと一言

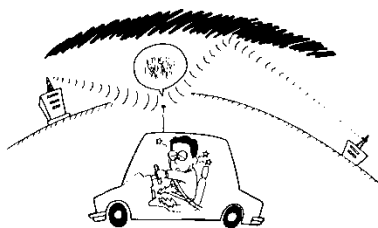
1. 曲と曲の間に雑音があるテープや曲の初めと終わりが明確でないテープは正常に作動しないことがあります。
2. テープが終端になると自動的に反対側になり1曲目の初めから演奏を始めます。

カー・オーディオの上手な使い方

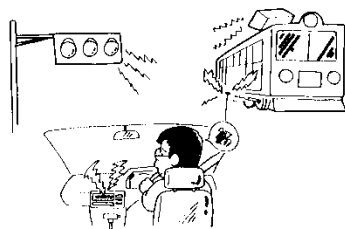
カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例をAM、FM放送別に以下に説明します。

AM放送

1 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がいったり、混信する場合があります。

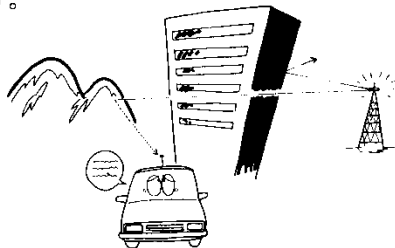


2 電車や信号機の近くを走行すると雑音が多い場合があります。



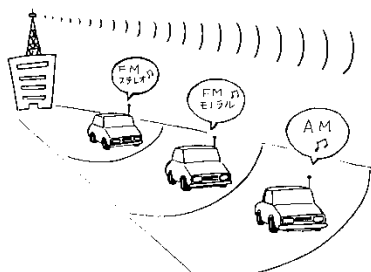
FM放送

電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなって雑音が多いやすくなります。



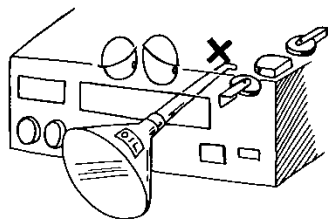
良好な受信ができる範囲

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



カセット・ステレオを長持ちさせるには

注油していませんか？

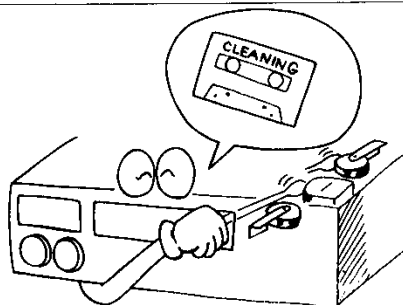


カセット・ステレオには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。

いれていませんか？

カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

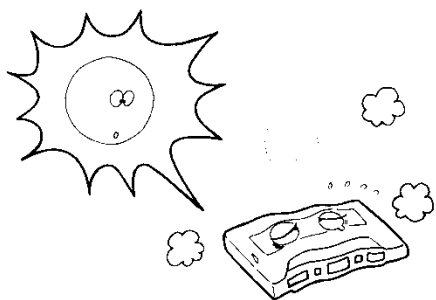
よごれていませんか？



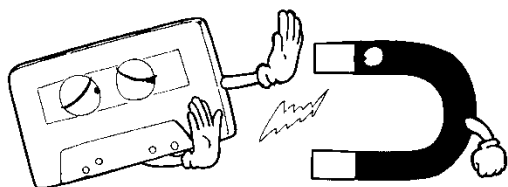
ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。

カセット・テープを長持ちさせるには

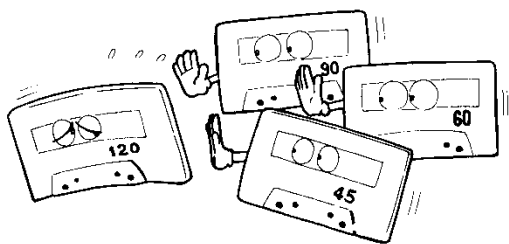
置いていませんか？



カセット・テープを直射日光の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセット・ケースに入れてこれらの場所をさけて保存してください。カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。

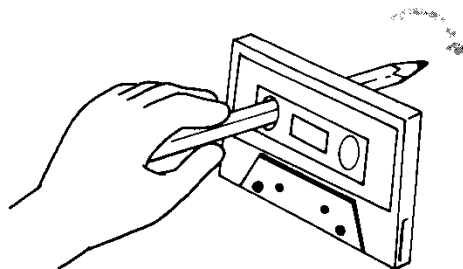


使っていませんか？



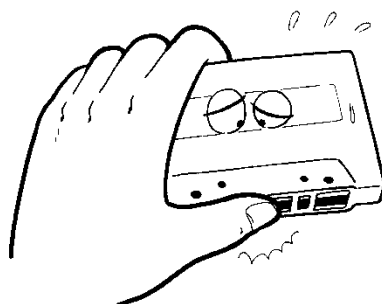
120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。

テープがたるんでいませんか？



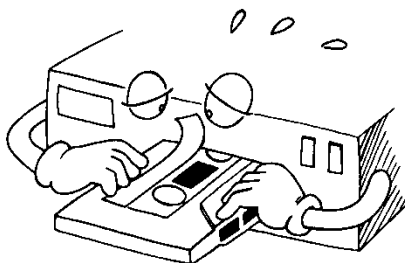
テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。

指が触れていませんか？



テープ面に直接触れると、テープがよごれ音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

はがれていませんか？



カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますので注意してください。